

# 造船構造設計者のための有限要素法

主催 関西船体構造研究会(KSSG), 東部支部構造研究会

2004年12月、旧関西造船協会(現関西支部)KSSG研究会により「造船構造設計者のための有限要素法」が刊行されました。本テキストは、造船所、設計会社等で船体構造の有限要素解析業務に携わる技術者にとって、モデル化技法、結果の評価などを含め有限要素解析ソフトウェアを使いこなす能力を涵養する絶好の教科書として好評を得ました。さらに、本テキストの内容をより深く学べる機会として、2006年1月には関西支部主催で神戸にて、また2007年2月には関西支部・西部支部共同主催で福岡にてシンポジウムが開催され、多数の参加を得ました。この度、同様のシンポジウムを東部支部にて開催する運びとなりました。造船所、設計会社、大学等で有限要素法による船体構造解析能力の向上を目指す皆様の多数の参加をお待ちいたします。

## プログラム

10:00~10:05	開会あいさつ	大阪大学名誉教授 矢尾哲也
10:05~10:55	船体に作用する荷重と船体構造の特徴	金沢工業大学 深澤塔一
10:55~11:45	有限要素法の基礎理論	大阪大学 藤久保昌彦
11:45~13:00	休憩	
13:00~14:20	有限要素法による船体構造解析手順とモデル化	三井造船(株) 稲田陽一
14:20~14:50	解析事例(その1)	ユニバーサル造船(株) 平川真一
14:50~15:10	休憩	
15:10~15:40	解析事例(その2)	三菱重工業(株) 植西清人
15:40~16:40	有限要素法解析結果の評価	九州大学 吉川孝男
16:40~16:55	総合質疑	(独)海上技術安全研究所 田中義照
16:55~17:00	閉会あいさつ	横浜国立大学 角洋一

日時 : 2009年3月23日(月)10:00~17:00

場所 : 航空会館 2階201会議室 東京都港区新橋1丁目18番1号  
(<http://www.kokukaikan.com/>)

定員 : 84名

参加費用 : 正員5,000円、学生2,000円、非会員8,000円(テキスト代2,000円込み)

※当日、会場受付にてお支払いください。

申込期限 : 2009年3月2日(月)

申込・問合せ : 〒599-8531 堺市中区学園町1-1

大阪府立大学 大学院工学研究科 航空宇宙海洋系専攻 海洋システム工学分野

坪郷尚

Tel.072-254-9341, Fax.072-254-9914, E-mail: tsubogo@marine.osakafu-u.ac.jp